



枝川小だより

「やればできる」を自信に
みんなが笑顔で
まわりの人には感謝を！

第39回「枝川ふれあいまつり」に本校合奏団が出演しました

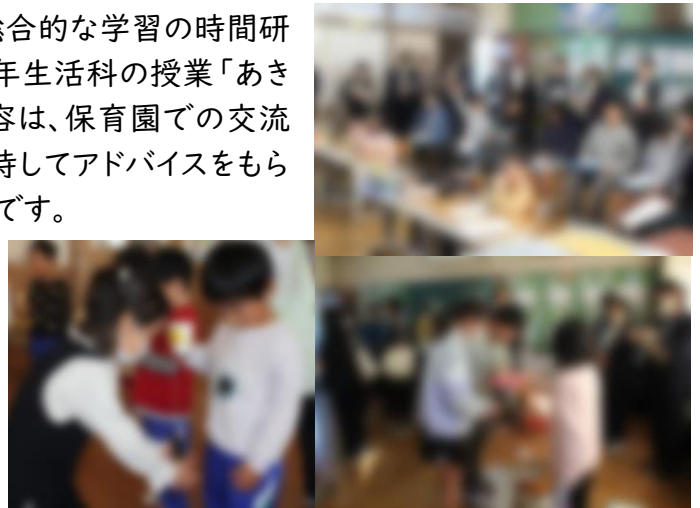
12月1日（日）、雲一つない快晴のもと、枝川転作推進センターにおいて、第39回「枝川ふれあいまつり」が開催されました。開会式に続いてのアトラクションでは、本校合奏団（児童13名）が演奏を行いました。演奏曲は「ジングルベル」、「きよしこの夜」、「茶色の小びん」の3曲で、集まった多くの保護者の皆様、地域の皆様に練習の成果を披露しました。演奏に対して温かい手拍子や拍手をいただき、また楽器運搬等のご支援とご協力に感謝申し上げます。



本校を会場に生活科の授業研究会を公開しました

11月19日（火）の午後、市教育研究会生活科・総合的な学習の時間研究部主催の授業研究会が行われ、樫本教諭が1・2年生生活科の授業「あきだすきーようこそあきまつりー」を公開しました。内容は、保育園での交流会であきまつりを行う準備として、6年生をお店に招待してアドバイスをもらい、お店をよりよくするための方法を考えるというものです。

市内小中学校から約30名の参観者が見ているところで、1・2年生は大きな声で堂々と、園児に見立てた6年生に対してお店での遊び方の説明を行いました。なお、1・2年生は11月27日（水）に、すみれ保育園を訪問し、学習の成果を生かして園児との交流を行うことができました。（写真左）



電子顕微鏡を使った出前授業を実施しました（5・6年）

11月11日（月）、5・6年を対象に電子顕微鏡を使った出前授業を実施しました。日立ハイテックの担当者から、前半は、蓮の葉の水をはじく仕組みを使ったヨーグルトの蓋や、蚊の口の仕組みを使った痛くない注射針など、バイオミメティクス（生物模倣技術）という生き物の体の仕組みを日常生活に生かす技術等について学びました。

後半は、実際に電子顕微鏡を使って、アリの目やアサガオ、マリーゴールド、珪藻の花粉、蝶の羽の表面（鱗粉）など倍率を変えながら観察しました。「電子顕微鏡で見ると全然違って見える」など、児童からは驚きの声が上がりました。今回使った電子顕微鏡は、最大3万倍まで見る事ができるそうです。

この出前授業は隔年実施のため、次回は令和8年度に、現在の3・4年生を対象に行う計画です。2年後は電子顕微鏡もさらにバージョンアップされるものと思われます。

